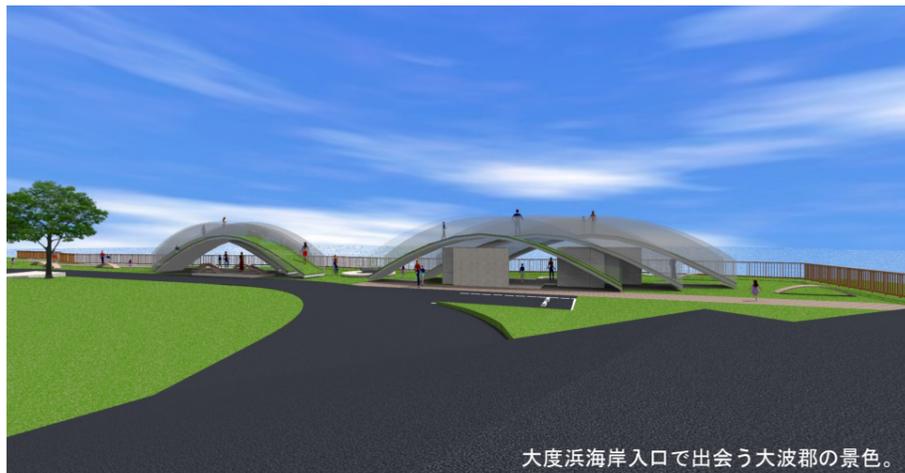
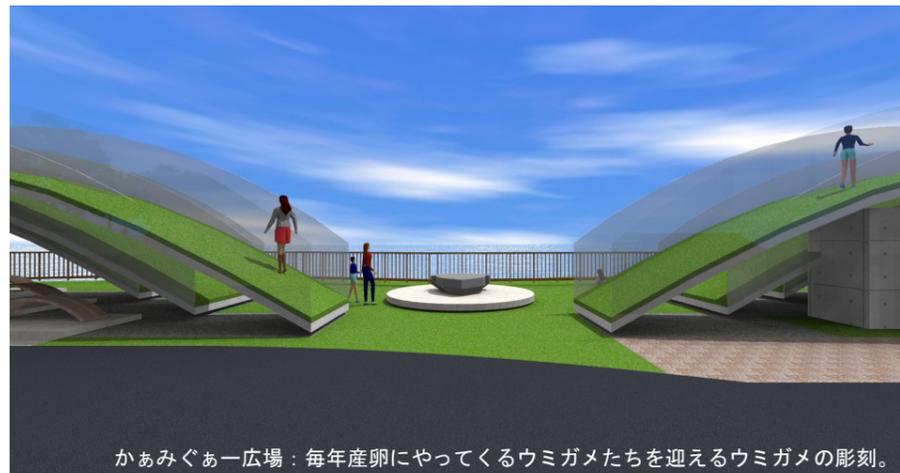


ジョン万次郎 大航海の景色

農道を走ってきた人々は、大度浜海岸入口で突然、大波郡の景色に出会う。
それぞれの波は、ずれたり、重なったり小さな波があったり、まさしくジョン万次郎物語の始まりに出会う。
緑地帯と連続する大波は、屋根となり、時には展望できる床になったり、子供達が遊ぶすべり台にもなる。
また、小波はベンチとしてピクニック広場を通り抜けジョン万次郎の記念碑まで続く。
これは、日本とアメリカを繋ぐ、ジョン万次郎の大航海の景色である。



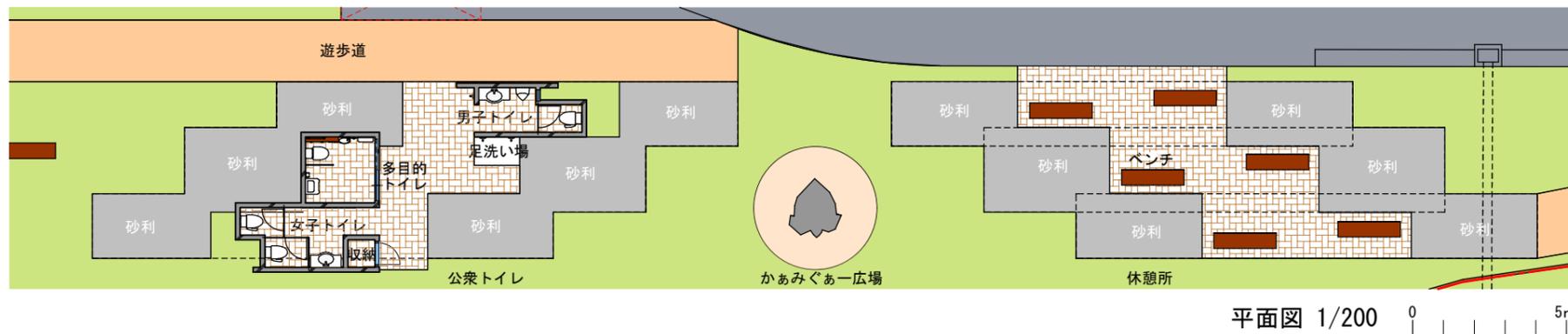
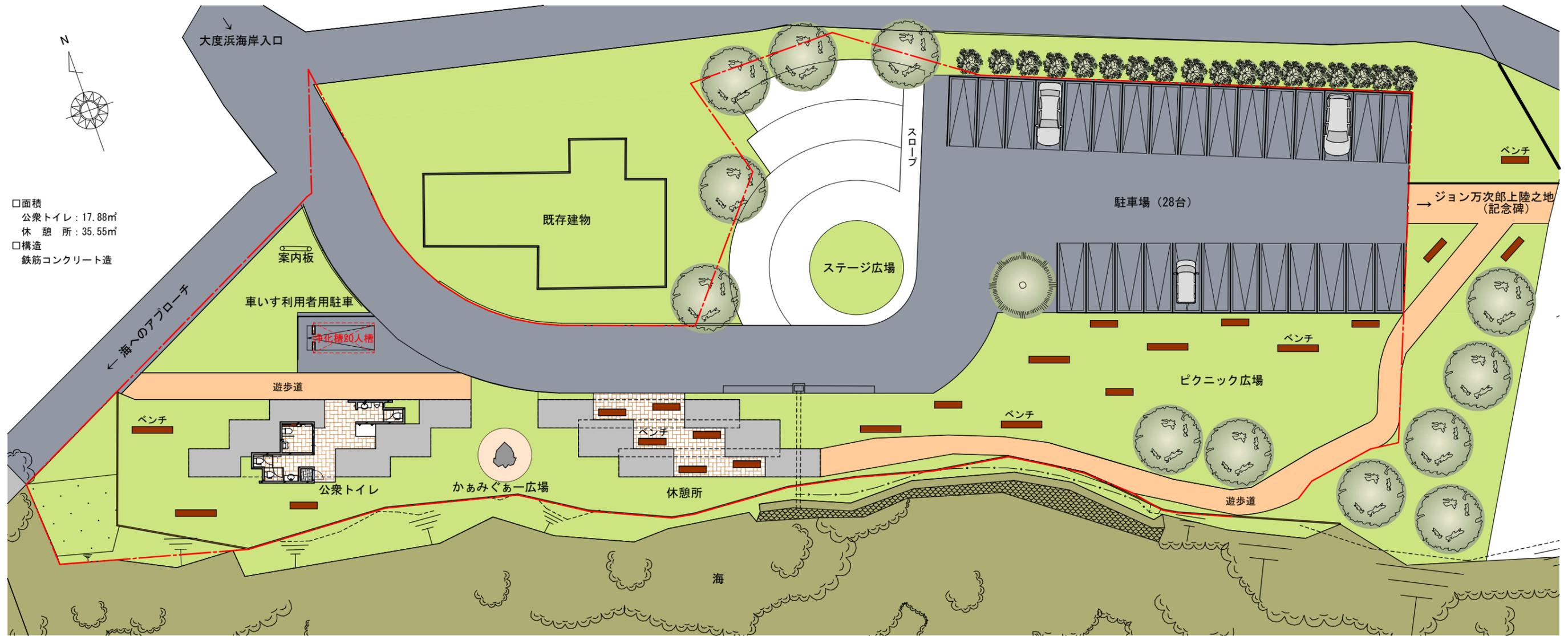
大度浜海岸入口で出会う大波郡の景色。



かあみぐあー広場：毎年産卵にやってくるウミガメたちを迎えるウミガメの彫刻。



ステージ広場、ピクニック広場、ジョン万次郎の記念碑に続く小波のベンチ。



〈 配置計画 〉

ピクニックに来た人々が、荷物を遠くまで運ぶことが無いように、「ピクニック広場」は駐車場近くの既存の位置に、面積を広くして配置した。

また、既存トイレ位置は、新しく「ステージ広場」を提案し、集団で訪れた子供達の青空教室や、小さな音楽コンサート等、イベントスペースとして活用したい。

「休憩所」は、既存の位置に建て替え、「公共トイレ」は、海へのアプローチ近くに配置した。必要最小限のトイレスペースを確保し、それぞれの上をアーチ型の屋根で覆う構造をしている。車イス利用者用駐車場は公共トイレに隣接し、その下に浄化槽を設置予定である。

ウミガメの彫刻は、「休憩所」と「公共トイレ」の間の「かあみぐあー広場」へ移設し、毎年産卵でやってくるウミガメ達を迎える。

